



# 三豊工だより

香川県立三豊工業高等学校

平成26年7月16日

No. 119

〒769-1689 香川県観音寺市大野原町大野原5537番地

TEL (0875)52-3011 FAX (0875)52-3012



ホームページ <http://www.kagawa-edu.jp/mitokh01/> E-mail [mitokh01@kagawa-edu.jp](mailto:mitokh01@kagawa-edu.jp)

連絡・お知らせ用 <http://www.kagawa-edu.jp/mitokh02/>

(携帯電話からご覧になれます。右上のQRコードをご利用ください。)

Facebook ページ <https://www.facebook.com/mitokh01>



## 親の務め、大人として果たすべき役割

～子どもの心を健やかに育むために～

生徒指導部 山本 卓

### 子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもはみじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる

親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思うってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世はいいところだと思えるようになる

「子供が育つ魔法の言葉」(ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス共著、石井千春訳、PHP 研究所) より

引用

先日、ある方と懇談した際にいただいた資料から引用させていただきました。

東京都議会での、女性を蔑視したとも受け取れる発言が世間を騒がせました。有名アーティストの覚せい剤使用のニュースもありました。他にも陰湿な内容のニュースが後を絶ちません。

子どもたちは、さまざまな制約の中で、今を懸命に生きています。その生活を通して、社会性を身につけ子どもから大人へと成長していくのだと思います。このような暗いニュースにばかり触れていては、心が荒んでしまっても仕方がないかもしれません。少なくとも、彼らのごく身近にいる大人(保護者の皆さん、わたしたち教職員等)が、上の文章に書かれていることを心に留めて接していれば、子どもたちの心の中にも

穏やかな気持ちや前向きな心が育まれるのではないのでしょうか。

わたしは、人が発する言葉や他人に対する接し方は、その人の内面にあるものが現れてきているのだと思っています。考えたことのない言葉は出てきませんし、相手を大切な人だと思っていれば傷つけるような接し方はしないはずです。いじめやハラスメントも根底にあるものは同じだと思います。上の詩を読んだ時、わたしも自分自身を振り返ることができました。折に触れこの詩を思い出し、子どもたちに接していきたいと思っています。保護者の皆さんにも何か感じていただければ幸いです。

# 先輩講話

高知工科大学環境理工学群 2 回生  
近藤奏（みなと）さん（H24 年電子科卒）

理系の大学進学希望者に対して、数学・物理・英語の基本はしっかり高校時代に身につけておき、入試の面接試験で困らないために、“日々の生活の中から自分のアピール点を整理してストックしておくことが大切”とアドバイスをいただきました。



東洋炭素（株）品質管理課マネージャー  
矢野正浩さん（S60 年電気科卒）

企業で働く先輩として、「社会人として求められる人物は“知らないことをどんどん聞いて、知識をアップすることに努め、目標を決め、その達成のためにどうすればよいかを考えることのできる人物です”」と講話をいただきました。

# 技能士講習会

6 月 28 日（土）・7 月 12 日（土）に本校機械棟で、9:00～16:00 の日程で 2 級機械組立仕上げ作業、3 級普通旋盤作業の技能士講習会が行われました。2 級仕上げ作業には機械科 3 年の岡本君、3 級普通旋盤作業には機械科 2 年の坂田君、宮崎君、山下君、山本君、吉永君が 7 月 30 日（水）・8 月 23 日（土）の資格試験に向けて、この度の技能士講習会に参加しました。2 級仕上げ作業の講師として久保さんをお招きし、「キサゲがけ」という技術を教えてくださいました。機械科 3 級旋盤作業の講師としては森岡さんをお招きし、旋盤加工の技術指導をしていただきました。長時間の講習でしたが、最後まで集中して講習を受けることができ、充実した時間となりました。



# 車椅子・高齢者疑似体験

7 月 7 日（月）～10 日（木）にかけて、1 年生を対象に車いす体験および高齢者疑似体験が行われました。

車いす体験では、砂利道や坂道を走行したり、介助者が車いすを抱えて階段を上ったりといった体験をしました。また、高齢者疑似体験ではサポーターや重り・ゴーグル・ヘッドホンなどを装着して、身体の動きや五感を制限された状態で歩いたり階段を上り下りしたりしました。

体験後には「車いすでの階段の上り下りは大変だった。困っている人がいれば手伝ってあげたい」「高齢者は歩くだけで大変なので、すれ違う時にはこちらが気をつけないといけない」などの感想が聞かれ、体験を通して、相手の立場に立って考えることの大切さを学ぶことができました。



# 自転車検定

7月9日（水）の3・4限目に体育館において、1年生（105名）を対象にした自転車検定が開催されました。3限目は、観音寺警察署の平田学交通課長より、スクリーンに写された自転車のルール及び、交通事故に関する検定問題が出題され、全員で解答した後、詳しく解説していただきました。4限目は、交通安全教育推進隊の方により、ビデオを視聴しながら、自転車の実技指導が実施されました。生徒の代表者4名が、交替で自転車シミュレーション装置に乗車し、全員でスクリーンを見ながら自転車運転中の危険予測を行いました。最後に、交通委員の電子科1年松下君がお礼の言葉を述べました。今回の講話は、生徒にとって交通安全とルールについて考える有意義な時間となりました。これからも、生徒の皆さんは、交通安全についての意識を高めて、交通マナーの向上に努め、交通事故（特に自転車事故）に遭わないように交通ルールを順守して行きましょう。



# 野球応援

7月14日（月）、高松市のレクザムスタジアムで、第96回全国高等学校野球選手権香川大会の1回戦が行われ、本校は香川中央高校と対戦しました。

試合は、エース黒田選手の力投にバックが応えて好プレーを見せるなど、1点を争う展開となりました。0対0で迎えた7回表、三豊工業の攻撃では相手のエラーで出塁した藤田選手を3塁まで進め、先制のチャンスを迎えましたが、あと1本が出ませんでした。その裏には香川中央に先制を許しましたが、最少失点で

切り抜け、打線の反撃を待ちました。しかし、相手投手の好投に阻まれ、0対1で初戦敗退となりました。

結果は残念でしたが、1点を争う好試合に応援にも熱が入り、スタンドは大いに盛り上がりました。



# ～部活動紹介～

## ソフトテニス部

(活動内容・目標)

三豊工業高等学校ソフトテニス部は、入部から引退するまで諦めずに活動続けることを第一とし、試合に勝つことはもちろんですが、部活動を通しての人間形成を目的として日々活動しています。

<部員数>

1年生	2年生	3年生	合計
7名	6名	10名	23名



## 電気技術部

(活動内容・目標)

電気技術部は、主に第3種電気主任技術者・第1種電気工事士等の難関国家試験の学習に取り組み、合格を目指しています。25年度は5名が第1種電気工事士に合格しました。また6月にはものづくり大会電気工事部門の四国大会に参加し、奨励賞を受賞しました。

<部員数>

1年生	2年生	3年生	合計
1名	8名	5名	14名



## 資格取得表彰

全国高等学校長協会 計算技術検定3級 合格 機械科1年 20名  
電気科1年 31名

【国家試験】ITパスポート試験 合格

たける  
進学コース 中山 丈瑠